

資料－2

水島港および徳山下松港をモデル港湾として、①港湾護岸等の耐震検討、②津波による浸水被害の検討を実施した。

その検討過程・検討結果を基に、港湾護岸等の施設管理者が地震・津波による被害想定を検討し、また、港湾管理者等が、その結果を総合的にとりまとめ港全体の現有護岸等の健全性を確認し、港のどこが危険であるかを把握し、判断するためのマニュアル（案）をとりまとめた。

## 今回の検討内容について

### 1) モデル港湾の検討結果

- ・ 条件設定は適切に行われているのか。（耐震・浸水）
- ・ 検討方法、プロセスは、適切に行われているのか。（耐震・浸水）
- ・ 検討結果が分かり易くとりまとめられているのか。（耐震・浸水）
- ・ 耐震性検討において、簡易手法は実用的なレベルと言えるのか。
- ・ 港全体の健全性の評価について（水島港・徳山下松港）

### 2) 港湾護岸等の地震、津波による被害検証マニュアル（案）

- ・ マニュアルの内容が目的に沿ったものになっているのか。
- ・ モデル港湾の検討事例が正しく盛り込まれているのか。
- ・ 誰でもが使い易いマニュアルになっているのか。
- ・ 港全体の健全性について評価できるものになっているのか。